

MTT035-P07

会場:コンベンションホール

時間: 5月24日17:15-18:45

## 探索的空間データ解析ツールを用いた東京大都市圏の人口データの地理的可視化

### Geovisualization of demographic data of Tokyo Metropolitan Area using tools for the exploratory spatial data analysis

若林 芳樹<sup>1\*</sup>, 小泉 諒<sup>1</sup>

Yoshiki Wakabayashi<sup>1\*</sup>, Ryo Koizumi<sup>1</sup>

<sup>1</sup>首都大学東京

<sup>1</sup>Tokyo Metropolitan University

地理情報システム (GIS) の登場によって、地図利用は既知の空間的パターンの伝達から未知の空間的パターンの探索や可視化へと拡大した。その結果、様々な探索的空間データ解析

(ESDA) のためのツールの開発が進められており、それらのツールには、多変量の地理空間データを多面的に解析することを容易にする、ブラッシング、平行座標プロット、条件付きコロプレスマップなどの新しい手法が取り入れられている。本研究は、Pennsylvania State UniversityのGeoVISTAセンターが開発した地理的可視化のツールであるGeoViz toolkit、およびArizona State UniversityのGeoDaセンターが提供しているESDAのためのツールであるGeoDaを用いながら、東京大都市圏の人口データ分析への有効性を検討する。

キーワード:探索的空間データ解析,地理的可視化,地理情報システム,東京大都市圏

Keywords: exploratory spatial data analysis, geovisualization, Geographic Information Systems, Tokyo Metropolitan Area